

留学報告書

記入日:2023年2月26日

所属(学科)	農学部 食料環境政策学科 学科
留学先(国名)	タイ
留学先(大学名)	シーナカリンウィロート大学
留学期間	2022年8月~2022年12月
留学した時の学年	3年生
留学先での所属学部	経済学部
帰国年月日	2022年12月28日
明治大学卒業予定年	2024年3月

留学費用項目	現地通貨(Bht.)	日本円	備考
授業料(負担型の場合)	0	0円	
宿舍費	39,000	150,000円	
食費	8,000	150,000円	1ヵ月約 <u>30,000円</u>
図書費・学用品費	5,900	24,000円	
被服費	3,500	15,000円	
医療費	0	0円	
保険費		60,000円	
渡航旅費		100,000円	
雑費		円	
その他		100,000円	
合計		600,000円	

渡航情報
渡航費用 合計:100,000 円
渡航に際して利用した旅行会社や、ガイドブックを教えてください。
3ヶ月前に、予約しました。預け荷物の容量が多く、キャンセル、日程変更の融通が効くプランで予約しました。
滞在携帯関連
(1)種類(留学中の滞在先について)(例:アパート, 大学の宿舎など)
アパート
(2)部屋の形態
<input checked="" type="checkbox"/> 個室 OR <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 人)
(3)住居を探した方法
大学からの紹介、また先輩からの情報
(4)感想(滞在先の感想とこれから留学する人へのアドバイス)
アパートだと値段が抑えられました。キッチンはありませんが、電気鍋を買ってたまにお米を炊いたり、茹でたり、自炊をしていました。大家さんと仲良くなったり、家の前のお店の人とご飯食べたり、近所の欧米人と飲んだり、毎日楽しく過ごしました。
現地情報
(1)現地で病院にかかったことはありますか。大学の医務室/診療所で医療サービスを受けることは可能でしたか?
<input checked="" type="checkbox"/> 利用した: <input type="checkbox"/> 利用する機会がなかった
(2)学内外で問題があった時には誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。
明治大学 ASEAN センターのウィライラック先生とジョイさん、大学の国際課のラッチャニーさん、サクシリンさん
(3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか。その際、どのように対処しましたか。
明治大学 ASEAN センターの方が危険地域情報や防犯に関して最初に説明してくださいました。実際に犯罪に巻き込まれることはありませんでした。

<p>(4)PC, 携帯電話, インターネット接続について, 現地での利用はいかがでしたか。</p> <p>(例:寮のインターネットが不安定で, 1週間に1度は全く繋がらない時があった。街にあるカフェではWi-Fi接続が可能だった)</p>
<p>家に備え付けられているWi-Fi 現地の携帯会社(AIS)と契約 通信無制限で1ヶ月200バーツ</p>
<p>(5)現地での資金調達はどうのようにして行いましたか。</p> <p>(例:現地に銀行口座を開設し, 日本の親から送金してもらい, クレジットカードも併用していた)</p>
<p>銀行口座を作り, 日本からWISEを使って送金していました。タイは日本よりもキャッシュレス化が進んでいて, 大体銀行口座直結のQR決済で支払うことができました。</p>
<p>(6)現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。</p>
<p>薬, 日焼け止め, 歯磨き粉, 歯ブラシ, 丈夫で軽い折りたたみ傘 大体なんでも買えるので人それぞれだと思います。私が使い慣れている日本の日焼け止めは, 現地では高かったのが大量に持って行ってよかったと思います。</p>
<p>(7)【授業料負担型の方】授業料支払い方法, 支払い時期について教えてください。</p> <p>(例:渡航前に自分のクレジットカードで支払った, 現地で開設した銀行のチェックで支払った)</p>

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)	
(1)留学先で取得した単位数合計	(2)本学で認定された単位数合計
3 単位	単位
(2)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスを含めてお書きください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語 or 英語)	履修した授業科目名(日本語)
Creative economy	創造経済
単位数	3
授業形態	講義形式(講義形式・ディスカッションなど)
授業時間数	1週間に100分が1回
授業内容	音楽、映画、観光など無形のもの、人のアイデアからいかに価値を創出するか
試験・課題など	期末試験、期末レポート
感想(自由記入)	タイはキャッシュレス化が日本よりも進んでおり、クリエイティブ産業との親和性が非常に高く、今後の可能性を感じた。 観光業など、タイが力を入れる産業を主に学んだ。

履修した授業科目名(留学先大学言語 or 英語)		履修した授業科目名(日本語)	
English presentation for business		英語プレゼンテーション	
単位数	3		
授業形態	講義形式、全体プレゼン(講義形式・ディスカッションなど)		
授業時間数	1週間に100分が1回		
授業内容	どのようにして、観客を惹きつけるプレゼンテーションができるか学ぶという授業。		
試験・課題など	中間発表、中間グループ発表、期末発表		
感想(自由記入)	40人の前で何度もスピーチを行った。負荷のかかる中で、即時に言語化を行い、プレゼンをするというスキルを身につけた。		

履修した授業科目名(留学先大学言語 or 英語)	履修した授業科目名(日本語)
Public Finance	公共政策
単位数	3
授業形態	講義形式(講義形式・ディスカッションなど)
授業時間数	1週間に180分が1回
授業内容	タイの公共政策を学んだ。国内の貧困、ジニ係数、税金、財の性質、独占、寡占、外部不経済など学んだ。
試験・課題など	タイの公共政策をまとめるレポート、中間試験、期末試験
感想(自由記入)	タイの経済格差を目の当たりにした。キャッシュレス化が進む、タイならではの公共政策があり、興味深かった。

履修した授業科目名(留学先大学言語 or 英語)	履修した授業科目名(日本語)
Thai language	タイ語
単位数	3
授業形態	ディスカッション、ロールプレ(講義形式・ディスカッションなど)
授業時間数	1週間に180分が1回
授業内容	留学生のうち、タイ語初学者に向けた講義。英語で開講される。
試験・課題など	日々の小テスト、中間テスト、最終テスト
感想(自由記入)	さまざまな国からの留学生とともに授業を受けた。会話練習がメインの講義で、レストランやお店などでタイ語を使えるくらいまで成長した。

履修した授業科目名(留学先大学言語 or 英語)	履修した授業科目名(日本語)
Human resouses manegiment	人的資源管理
単位数	3
授業形態	講義形式(講義形式・ディスカッションなど)
授業時間数	1週間に180分が1回
授業内容	人事、会社として守るべき法、人材の評価の仕方のノウハウ、職場の多様性の守り方、解雇・退職などがもたらす会社への影響を学んだ。
試験・課題など	中間、期末試験 レポート
感想(自由記入)	人事の目線に立って学ぶ機会が多かったので、自分のキャリアや、将来のキャリアアップを考えるきっかけになった。

●留学中の一週間のスケジュール(例)

※授業だけでなく課外活動・交流会・自習・その他自由時間の活用についても具体的にご回答ください。

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
朝							
午前 中	旅行など	Creative Economy	Public Finance		Human resouses		たまに 卓球
午後		English presentation for business			Thai language		たまに図書 館でボラン ティア
夜							

●留学体験記

以下の項目について、それぞれ 200 字程度で具体的にご回答ください。

<p>準備しておけばよかった事</p>	<p>VISA とパスポート更新にゆとりをもつことです。パスポートの有効期限がギリギリだと、ラオスやカンボジアに行けないので、早め早めに行動しておけばよかったと後悔しています。</p> <p>タイの方のイントネーションの英語を学んでおけばよかったと思います。</p> <p>TOEIC や英検の勉強でアメリカ英語、イギリス英語に慣れていたので、最初、タイの教授の英語が全然聞き取れなかったことがありました。</p>
<p>留学先を選んだ理由</p>	<p>学科の講義を通して、農業大国であり、キャッシュレス化が進むなど発展が目覚ましく、東南アジアの中で日系企業の進出が多く進んでいる国であるタイに興味を持ちました。学科で学んでいることと関連していることからシーナカリンウィロート大学の経済学部留学することに決めました。</p>
<p>大学・学生の雰囲気</p>	<p>学生は比較的積極的にコミュニケーションをとってくれました。タイの大学は、授業のクラス全体が仲良く、和気藹々とした雰囲気の中で楽しく授業を受けていました。</p>
<p>交友関係</p>	<p>経済学部の三年生・四年生、人文学部二年生向けの授業など、経済学部以外の講義をとったため、幅広く人間関係を構築できました。</p>
<p>困った事・大変だった事</p>	<p>最初大家さんと会話ができなかったことです。現地に向かうまで、英語で LINE で連絡を取っていた大家さんが実際は英語が話せず最初は大変な思いをしました。シャワーから水が出なくなった時も意思疎通が取れなかったのですが、「ごったい」(タイ語辞書)で調べて指差しで会話したりと、今思うと逆にタイ語を学ぶきっかけになっていたと思います。</p> <p>食事に関して。辛いものは、本当に辛いので辛いので食べられない人は注意です！！</p>
<p>学習内容・勉強について</p>	<p>シーナカリンウィロート大学の春学期は、農業に関連する講義はありませんでしたが、興味があった創造経済(Creative Economy)の講義を受講しました。実際に映画、音楽、観光産業の方が講義をしてくださり、学科で学ぶ六次産業化と密接に結びついていると感じました。</p>
<p>課題・試験について</p>	<p>レポートなど、グループで取り組むことが多くありました。</p> <p>試験は、何度か受けましたが、まめに復習していれば大丈夫です。</p>
<p>大学外の活動について</p>	<p>留学中は毎日、日記に自分の興味やこれからしたいことなどを書き、1 日を振り返っていました。誘いには基本のるぞ！というようにフットワーク軽く生活していました。実際、ラオス、カンボジア、ベトナム、マレーシアなどさまざまな場所へ旅行に行き、現地の方と交流しました。また、現地では子どもたちと関わるボランティアに参加して、一緒に伝統舞踊を踊ったり、工作をして遊んでいました。</p>